

洋の東西を問わず心に響く音で綴る

音草紙38巻 [星祭り]



高橋 竹童

津軽三味線



一九歳で初代・高橋竹山の最後の弟子となり、二四歳よりソロ活動を開始する。竹山譲りの豊かな音楽性と叙情性、豪快な音締めが高く評価され、国内外で活躍する。近年、様々なジャンルの著名アーティストとも共演し、活動域は一層の広がりを見せ、更なる期待と注目を集めている。

竹井 誠

笛、尺八、能管



邦楽囃子笛方として活動する一方、数少ない笛・尺八兼任奏者として、日本音楽集団、林英哲グループ等で国内外で活躍する。また、ライブシーンで、伊藤多喜雄、山下洋輔、仙波清彦等の著名アーティストのユニットやソロで活動を展開している。本年より、東京藝術大学非常勤講師。

- 〔曲目〕
- 津軽じよんから節 (津軽三味線)
 - 津軽三下り (津軽三味線)
 - 子守唄 (笛)
 - 鹿の遠音 (尺八)
 - 越中おわら節 (胡弓・尺八)
 - 郷愁 (三味線・笛)
 - 即興曲「疾風」 (三味線・能管)
- 他

2010年 7月7日 (水) 午後7時開演 6時30分開場

銀座フェニックスホール

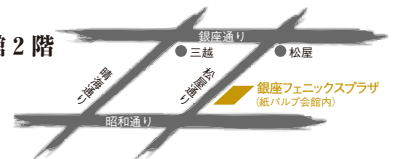
中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館 2階
☎03-3543-8118

銀座4丁目交差点より徒歩4分

料金 3,500円 (全席自由) 鹿野酒造の銘酒ワンドリンク付き

チケット取扱い お問い合わせ ☎ 03-3978-6548

spica@sepia.ocn.ne.jp



まほろばの宴

終演後 (九時〜十時)

終演後、鹿野酒造蔵出しの美酒を片手に、語らいのひと時をお過ごし頂きたく、別料金にて懇親の宴を予定しております。

《協力蔵元》鹿野酒造 《銘柄》常きげん

文政年(一八一九年)創業。「現代の名工」に認定され、名杜氏の誉れ高い農口杜氏が、白山の清流の地で、蔵人と丹精込めて加賀地酒を造り続ける。

会場 ラウンジ「パピエ」紙パルプ会館1階
料金 一五〇〇円 定員 五十名

スピカは20周年を迎えます！



スピカとは、おとめ座の一等星、ラテン語で“麦の穂”を意味します。

スピカは‘気軽に足を運び、心から楽しめるコンサート’を目指し、
スピカコンサートと音草紙の2つのシリーズを開催しております。

踏まれても踏まれても伸びていく麦、
頭を垂れずまっすぐに天に向かって伸びていく麦の穂のように、
ひたむきに澁刺と、手作りのコンサート活動を続けていきたいと願っております。

＜スピカコンサート ～クラシック音楽を主体としたシリーズ～＞

心を打つ音楽を聴くと気持ちが和み、ゆとりや活力が生まれてくるのではないのでしょうか？ それなのに、クラシック音楽が、難しいとか堅苦しい、退屈というイメージで敬遠されがちなのはとても残念であり、誰もが気軽に音楽を楽しめる場がもっとあったらという思いから、スピカは1990年に手作りコンサート活動を始めました。スピカコンサートが、心から音楽を楽しめ、感動できる場であることを願っております。

＜音草紙 ～洋の東西を問わず、心に響く音の世界で綴るシリーズ～＞

かつて、おとぎ話、浄瑠璃など様々な内容で、多くの人々から愛好され、人々に楽しみ、憩い、或いは感動を与えた草紙。その草紙の如く、気軽に触れ、知らず知らずに楽しさ、魅力に惹きこまれ、安らぎや感動を味わえる会を目指し、スピカは1995年に心に響く様々な音で綴る音草紙をスタートさせました。音草紙で暖かな出会いが生まれ、その輪が更に広く、深くなっていきますよう願っております。